

Panasonic

フレームスイッチャー

取扱説明書 工事説明付き

品番 **WJ-FS216**

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびは、フレームスイッチャーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、監視カメラを最大16台まで接続でき、フレームスイッチャーモードと多画面表示モードを切り換えて使用することができます。接続するカメラには、同期をかける必要はありません。各モードには、以下のような機能があります。

フレームスイッチャーモード

- 自動映像切換(シーケンス)、1画面表示(スポット)で映像を見ることができます。同時にタイムラプスVTRへ録画ができます。
- タイムラプスVTRからの再生画は、ワンタッチで任意のカメラの映像を選べ、1画面または多画面(4,9,16分割画面)で見ることができます。多画面再生時の3種類の画面分割パターンは、ワンタッチで切り換えができます。さらに4画面時は、最大4ページ分見ることができる「4画面送り」機能があります。
- 1画面再生時は、タイムラプスVTRからの再生画を静止させることができます。多画面再生時は、複数の画面を静止させることができます。
- アラーム発生履歴を最大100件まで記録しておくことができます。

多画面表示モード

- 自動映像切換(シーケンス)、1画面表示(スポット)、多画面表示(4,9,16分割画面)で映像を見ることができます。多画面表示時の各分割画面は、準動画(コマ落とし)の映像になります。
- 3種類の画面分割パターンは、ワンタッチで切り換えができます。さらに4画面時は、最大4ページ分見ることができる「4画面送り」機能があります。
- 多画面表示時は、複数の画面を静止させることや、任意の1画面を拡大することができます。

両モード共通の機能

- 外部からリモートコントロールすることが可能です。
- カメラケーブル断線等の信号遮断時にも、異常を知らせるアラーム機能があります。
- 万一、停電が発生したときでも、常温で72時間以内であれば、日付・時刻、アラーム履歴、タイトル文字などの設定内容は記憶されています。

付属品をご確認ください

ラックマウント金具	2	取扱説明書(本書)	1
取付ねじ(M3×10)	8	保証書	1
スイッチプロテクター	1		
ラック取付ねじ(M5×12)	4		

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
取り扱い上のお願ひ	6
各部の名前と働き	7
前面	7
後面	9

操作のしかた

カメラの映像を見る	10
1画面表示で見る	10
多画面表示で見る	11
自動切換(シーケンス)表示で見る	13
カメラ映像を静止して見る	14
カメラ映像を拡大して見る	15
ビデオに録画する	16
ビデオ再生画を見る	17
ビデオ再生画を見る前に	18
1画面表示で見える場合	18
多画面表示で見える場合	19
自動切換(シーケンス)表示で見える場合	20
再生映像を静止して見る場合	21
再生映像を拡大して見る場合	22
アラームについて	23
アラーム発生時の動作	23
アラーム表示について	23

設定のしかた

基本操作	24
メニュー画面を表示する	24
メニュー画面上の操作手順	25
動作モードの設定	26
動作モードを設定する	26
フレームスイッチャーモード時の設定項目	27
多画面表示モード時の設定項目	30
タイトルの設定	32
タイトルを設定する	32
タイトル表示位置を設定する	33
日付・時刻の設定	34
日付・時刻を設定する	34
日付・時刻の表示位置を設定する	35
シーケンスの設定	36
多画面チャンネルの設定	37

工事説明

ラックへの取り付けかた	38
接続のしかた	39
システム接続例	39
タイムラプスVTRとの接続例	40
アラーム/リモートの接続	40

付 録

故障とありましたら	42
仕様	43
保証とアフターサービス	裏表紙

はじめに

操作のしかた

設定のしかた

工事説明

付録

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、 改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に 置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

ぬれた手で電源プラグの 抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

禁止

⚠ 注意**通風孔をふさがない**

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

落とさない、強い衝撃を与えない

けがや火災、感電の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。

禁止

取り扱い上のお願い

「安全上のご注意」と合わせて、以下のこともお守りください。

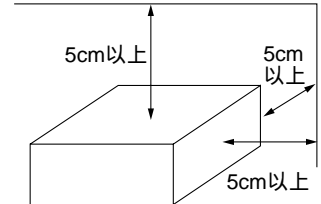
設置上のお願い

5 cm以上間隔をあけてください

機器の側面、後面および上面は、壁面から5 cm以上あけてください。

雑音源を避けてください

電灯線などに近づけてケーブルを引き回したりすると雑音が入る場合があります。その時は、配線や位置を変えてください。



使用上のお願い

使用電源は

AC100 Vです。

消費電力の大きな機器(コピー機、空調機器など)と同じコンセントから電源をとらないでください。

使用温度範囲は

- 10°Cから + 50°Cです。

この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。

ビデオについて

接続されるビデオは長期の使用に耐えられるように設計されていますが、日常点検を行い異常のないように使用されることをおすすめします。

詳しくはビデオの説明書をご覧ください。

内蔵バックアップ電池について

- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、電池を充電してください。充電が不十分ですと、停電保証時間(常温で72時間)が短くなります。
- 内蔵バックアップ電池には寿命があります。寿命を過ぎると電源を切った際に時刻設定の内容が保存されません。寿命は使用条件により変わりますが、約5年が交換の目安です。

内蔵EEPROMについて

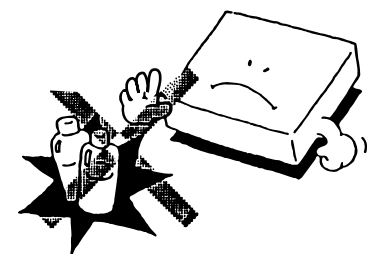
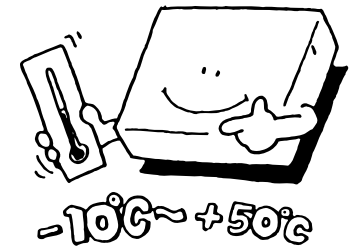
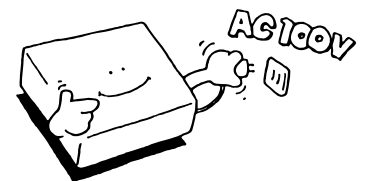
メニューの設定内容などは、EEPROMに保存されますが、EEPROMの書き込み寿命回数は約10万回となっております。約10万回書き込みますと、画面に「ROM NG」と表示されますので、EEPROMの交換を販売店にご依頼ください。

アースについて

必ず、アース端子から大地にアースをとってください。アースをしないと発振したり、故障の原因となることがあります。

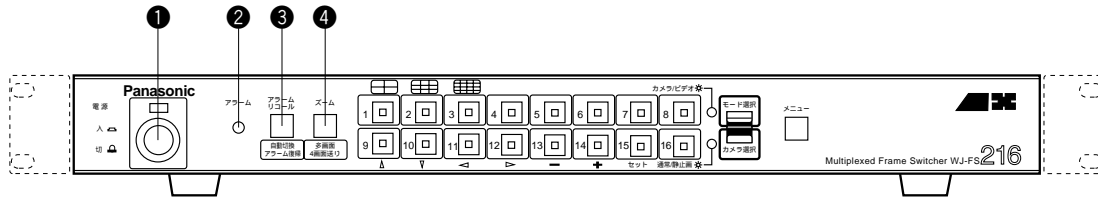
お手入れは

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。



各部の名前と働き

前面 (その1)



①電源スイッチ [電源 入■/切■]

電源を入/切します。「入」のときは、電源LEDが点灯します。

電源スイッチの誤操作を防止するスイッチプロテクター(付属品)の取り扱いは、38ページをご覧ください。

②アラーム表示LED

アラームが入力されると点滅します。ブザー音を設定している場合は、同時にブザーが鳴ります。アラーム復帰ボタン③を押すと消灯します。また、後面のアラーム/リモート端子⑯に復帰信号が入力されるか、設定されたアラーム復帰時間(多画面表示モードの場合)がくると点灯に変わります。

③アラームリコール/自動切換/アラーム復帰ボタン [アラームリコール/自動切換/アラーム復帰]

モード/カメラ選択スイッチ⑧が「カメラ選択」のときは、[自動切換] ボタンとして、「モード選択」のときは、[アラームリコール]ボタンとして、以下のように働きます。

アラーム動作中は、モード/カメラ選択スイッチ⑧がどちらを選択しているかに関わらず、[アラーム復帰] ボタンとして働きます。

●[自動切換]ボタン

設定した順序と切換時間で、カメラ映像を自動的に切り換え、モニターに表示します。

●[アラーム復帰]ボタン

アラーム動作中に押すと、アラーム動作(アラームLED点滅、アラーム出力、ブザー音)から復帰し、アラーム入力前の状態に戻ります。

●[アラームリコール]ボタン

アラーム入力のあった日時、チャンネル番号の記録(最新の10件)をモニター上に表示します。(最大100件)

フレームスイッチャーモード時のみ有効です。

[13] ボタン(-)を押すと古い記録、[14] ボタン(+)を押すと新しい記録に切り換わります。

[15] ボタン(セット)を押すか、モードカメラ選択スイッチ⑧を「カメラ選択」側にすると、表示が消え、元の状態に戻ります。

④ズーム/多画面/4画面送りボタン [ズーム/多画面/4画面送り]

モード/カメラ選択スイッチ⑧が「カメラ選択」のときは、[多画面]、[4画面送り]ボタンとして、「モード選択」のときは、[ズーム]ボタンとして、以下のように働きます。

フレームスイッチャーモード時はビデオ再生画、多画面表示モード時はカメラ映像に対応します。

●[多画面]ボタン

ビデオ再生画またはカメラ映像を、多画面(4,9,16分割)表示します。

●[4画面送り]ボタン

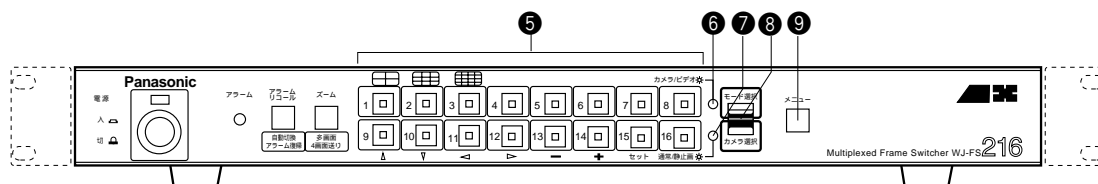
ビデオ再生画またはカメラ映像を4画面表示しているときに押すと、4画面ずつ映像を切り換えます。(12ページ参照)

●[ズーム]ボタン

ビデオ再生画またはカメラ映像を、拡大してモニターに表示します。

各部の名前と働き

前面 (その2)



⑤チャンネル選択ボタン

[1~16、、、、カメラ/ビデオ、、、、、、、、、、、、、、、セット、通常/静止画]

- ・モード/カメラ選択スイッチ⑧が「カメラ選択」のときは、カメラ映像またはビデオ再生画の選択ボタンとして働きます。押した番号(チャンネル)の映像がモニターに表示されます。

- ・モード/カメラ選択スイッチ⑧が「モード選択」のときは、以下のように働きます。

[1]ボタン 多画面表示の分割パターンを、4画面にします。

[2]ボタン 多画面表示の分割パターンを、9画面にします。

[3]ボタン 多画面表示の分割パターンを、16画面にします。

[8]ボタン カメラ映像とビデオ再生画の表示を切り換えます。ビデオ再生画が表示できるときは、ビデオモードLED⑥が点灯します。

[9]ボタン カーソルを上側に移動します。

[10]ボタン カーソルを下側に移動します。

[11]ボタン カーソルを左側に移動します。

[12]ボタン カーソルを右側に移動します。

[13]ボタン 映像の拡大率調整およびタイトル入力時の文字選択として動作します。

[14]ボタン 映像の拡大率調整およびタイトル入力時の文字選択として動作します。

[15]ボタン 設定項目を確定するセットボタンとして動作します。

[16]ボタン 映像を静止できるモード(静止モード)にします。静止モード中は、静止モードLED⑦が点灯します。もう一度押すと、通常モードに戻ります。

⑥ビデオモードLED

モード/カメラ選択スイッチ⑧が「モード選択」のときに[8]ボタンを押し、ビデオモード(ビデオ再生画が表示できる状態)にすると点灯します。

⑦静止画モードLED

モード/カメラ選択スイッチ⑧が「モード選択」のときに[16]ボタンを押し、静止画モード(静止画表示をする状態)にすると点灯します。

⑧モード/カメラ選択スイッチ[モード選択/カメラ選択]

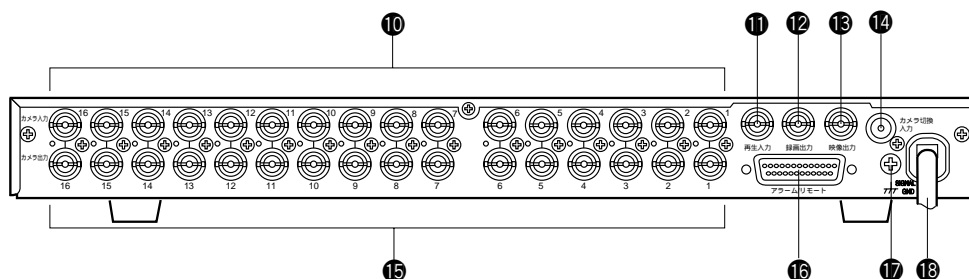
前面の各ボタンの機能を切り換えるスイッチです。

⑨メニューボタン[メニュー]

通常動作状態で2秒程度押し続けると、設定用のメニュー画面が表示されます。

設定終了時には、再度2秒程度押し続け、通常の状態に戻します。

後面



- ⑩カメラ入力端子 [カメラ入力 1～16](BNCコネクタ)
カメラからの映像出力信号を入力する端子です。
- ⑪再生入力端子 [再生入力](BNCコネクタ)
タイムラプスVTRからの映像出力信号を入力する端子です。
フレームスイッチャーモードのときのみ有効です。
- ⑫録画出力端子 [録画出力](BNCコネクタ)
フレームスイッチャーモードのときは、タイムラプスVTRへ映像信号を出力します。
多画面表示モードのときは、常時多画面映像がこの端子に出力されます。
- ⑬映像出力端子 [映像出力](BNCコネクタ)
モニター用の映像出力端子です。
フレームスイッチャーモードのときは、1画面、自動切換(シーケンス)画面、ビデオ再生画、メニュー画面が出力されます。
多画面表示モードのときは、1画面、多画面、自動切換(シーケンス)画面、メニュー画面が出力されます。
- ⑭カメラ切換入力端子 [カメラ切換入力](ピンジャック)
タイムラプスVTRからのカメラ切換信号を入力する端子です。フレームスイッチャーモードで、タイムラプス録画するときに使用します。接続しないと正常に録画できません。
多画面表示モードのときは使用しません。
- ⑮カメラ出力端子 [カメラ出力 1～16](BNCコネクタ)
カメラ入力端子⑩に接続した映像信号が出力されます。(ループスルー)
- ⑯アラーム/リモート端子 [アラーム/リモート](D-SUB 25ピン)
本機を外部からリモートコントロールするときに使用します。(41ページ参照)
- ⑰アース端子 [SIGNAL GND]
- ⑱電源コード
AC100 V(50/60 Hz)のコンセントに接続します。


カメラの映像を見る


1画面表示で見る


接続しているカメラの映像を1画面表示します。




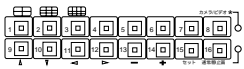
3 イリグチ
カメラの映像

1 ↑

モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にします。

2

[8]ボタンを押し、「カメラ」を選びます。

3

[16]ボタンを押し、「通常」を選びます。

4 ↓

モード/カメラ選択スイッチを「カメラ選択」側にします。

5

見たいカメラ番号の[チャンネル選択1~16]ボタンを押します。その番号のカメラ映像が表示されます。

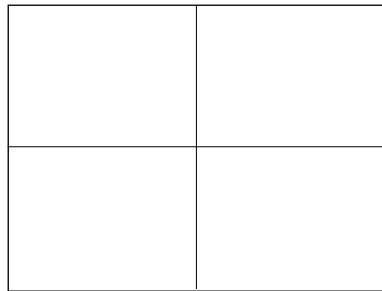
メモ

本機の動作モードが「多画面表示モード」(26ページ参照)のときは、手順1,2の操作は不要です。手順3から操作してください。

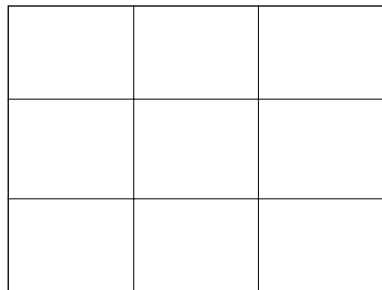
多画面表示で見る

接続しているカメラの映像を多画面(4画面、9画面、16画面)で表示します。

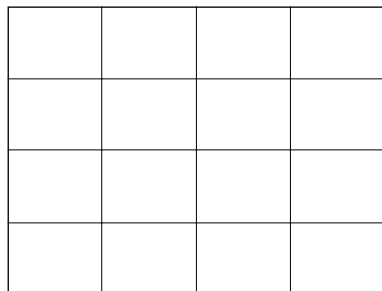
この機能は、本機の動作モードが「多画面表示モード」(26ページ参照)の場合のみ使用できます。



4画面表示

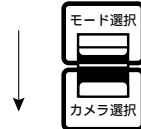


9画面表示



16画面表示

1



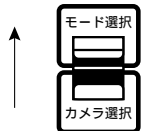
モード/カメラ選択スイッチを「カメラ選択」側にします。

2



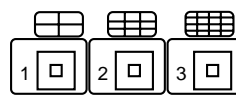
[多画面]ボタンを押します。
選択されている分割画面で、
カメラ映像が表示されます。

3



モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にします。

4



どれかを押す

画面の分割数を[1],[2],[3]ボタン
を押し選びます。

[1]ボタン : 4画面表示

[2]ボタン : 9画面表示

[3]ボタン : 16画面表示

メモ

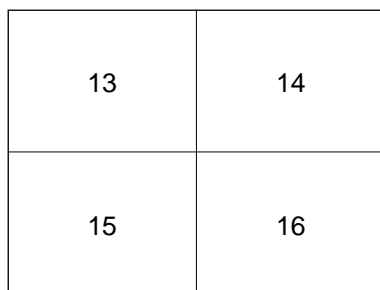
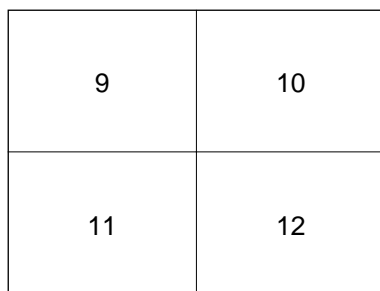
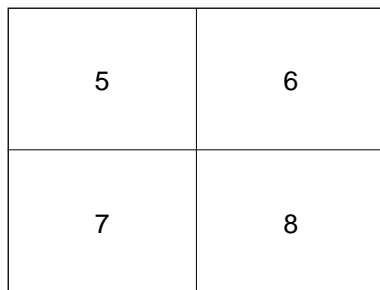
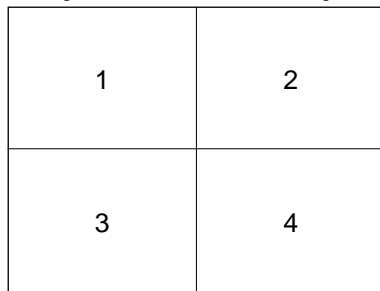
- 4画面表示の場合のみ、4画面ずつページを送るように映像を切り換える「4画面送り」機能があります。
操作方法は、次ページをご覧ください。
- 各分割画面は、準動画(コマ落とし)の映像になります。
映像の更新間隔は、4画面表示時は約0.3秒、9画面表示時は約0.9秒、16画面表示時は約1.5秒になります。
- 4画面、9画面表示時に画面が揺れることがありますが、故障ではありません。

カメラの映像を見る

4画面送り機能

4画面表示でカメラ映像を見ている場合、4画面ずつページを送るように映像を切り換えます。
この機能は、ビデオ再生画を4画面表示で見ている場合にも、同じ操作で使用できます。

[4画面送り機能の動作例]

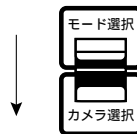


最初の画面に戻る

1

4画面表示にします。
(11ページ参照)

2



モード/カメラ選択スイッチを
「カメラ選択」側にします。

3



[4画面送り]ボタンを押します。
押す毎に4画面ずつ映像を切り
換えます。(左図参照)

メモ

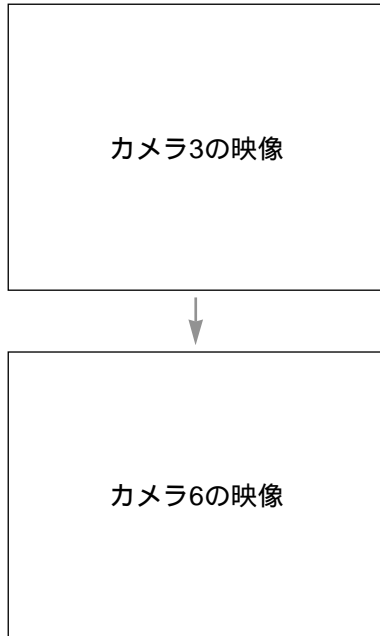
- 左図の番号はチャンネルを表しており、[チャンネル選択1~16]ボタンに対応しています。
- 4箇所すべて映像がない画面は、自動的にスキップされます。

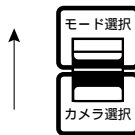
自動切換(シーケンス)表示で見る

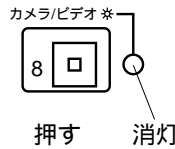
設定した順序、切替時間でカメラ映像を自動的に切り換え表示します。

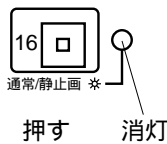
フレームスイッチャーモード、多画面表示モードの1画面表示のときは1画面シーケンスで、多画面表示モードの4分割画面のときは4画面シーケンスで働きます。

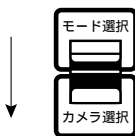
[1画面シーケンスの動作例]




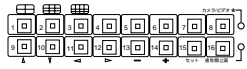
1  モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にします。

2  [8]ボタンを押し、「カメラ」を選びます。

3  [16]ボタンを押し、「通常」を選びます。

4  モード/カメラ選択スイッチを「カメラ選択」側にします。

5  [自動切換]ボタンを押します。映像を自動的に切り換え表示します。

6  シーケンス表示をやめるときは、[チャンネル選択1~16]ボタンのいずれかを押ししてください。

[4画面シーケンスの動作例]



メモ

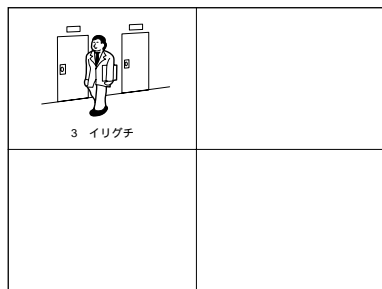
9画面、16画面表示のときに上記の操作を行っても、シーケンス表示は働きません。

1画面または4画面表示にしてから、操作してください。

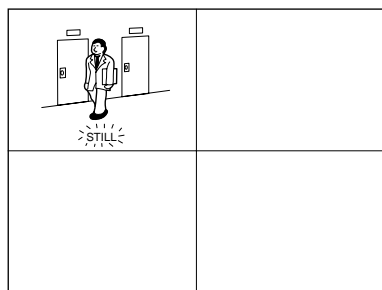
カメラ映像を静止して見る

カメラの映像を静止画にして表示します。

この機能は、本機の動作モードが「多画面表示モード」(26ページ参照)で、カメラ映像を多画面表示している場合のみ使用できます。



通常の映像

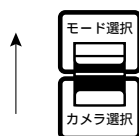


静止させた映像
(STILLが点滅表示)

1

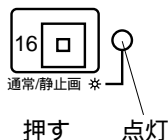
カメラ映像を多画面表示で見る状態にします。
(11ページ参照)

2



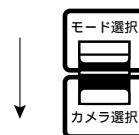
モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にします。

3



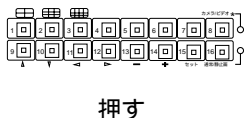
[16]ボタンを押し、「静止画」を選びます。

4



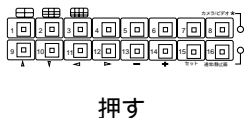
モード/カメラ選択スイッチを「カメラ選択」側にします。

5



静止したいカメラ番号の[チャンネル選択1~16]ボタンを押し、静止画にします。画面上には「STILL」と点滅表示されます。

6



通常の映像に戻すときは、再度[チャンネル選択1~16]ボタンを押します。

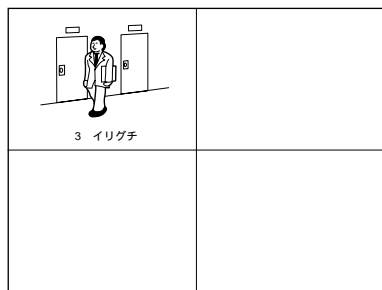
メモ

- STILL/ALARMの設定(28ページ参照)が「OFF」の場合は、「STILL」の文字は点滅表示されません。
- 画面上に表示されていないカメラのチャンネル選択ボタンを押しても、静止画にはなりません。
- 1画面表示のときは、静止画にすることはできません。

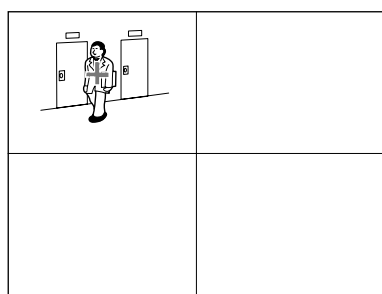
カメラ映像を拡大して見る

カメラの映像を拡大して表示します。

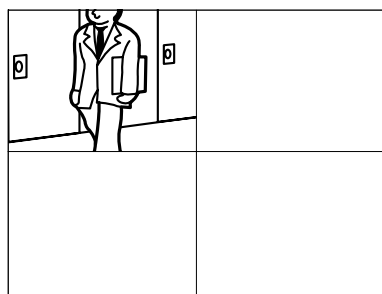
この機能は、本機の動作モードが「多画面表示モード」(26ページ参照)で、カメラ映像を多画面表示している場合のみ使用できます。



通常の映像



「+」マークを表示させた状態

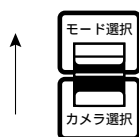


拡大した映像

1

カメラ映像を多画面表示で見る状態にします。
(11ページ参照)

2



モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にします。

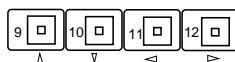
3



押す

[ズーム]ボタンを押し、画面上に「+」マークを表示します。「+」マークは、5秒程度操作しないと消えてしまいます。

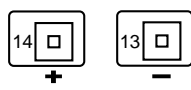
4



押す

「+」マークが表示されている状態で、[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、「+」マークを拡大したい位置へ移動します。

5

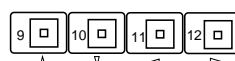


押す

押す

[14]ボタンを押し、映像を拡大します。
映像を縮小し元に戻すときは、[13]ボタンを押します。

6



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押すと、拡大した映像の位置を移動することができます。

メモ

- 拡大・縮小中に[15]ボタンを押すと、その画面倍率が保存され、次に電源を入れたときに、保存された倍率で画面表示します。
- 手順5では、[14]ボタンを押す毎に映像が拡大しますが、それ以上拡大できないときは押しても変化しません。また、[13]ボタンでの縮小は、元の大きさより縮小することはできません。
- 1画面表示のときは、拡大できません。

ビデオ再生画を見る

ビデオ再生画を見る前に

本機の設定は

ビデオ再生画が見れるのは、本機の動作モードが「フレームスイッチャーモード」(26ページ参照)のときのみです。

動作モード

* メニュー3 *	
ブンカッセン	WHITE
オートスキップ	OFF
シーケンス	
スタートガメン	1-SEQ
モード	→フレームスイッチャー

再生モードについて

本機の再生モードには、「フィールド」と「FS10」の2種類があります。これは、WJ-FS10、FS10Aというフレームスイッチャーを使用して録画したテープと、本機を使用して録画したテープの互換性がないための対応です。

ビデオ再生画を見る前に、再生モードの設定が再生するテープとあっていることを確認してください。(27ページ参照)

フィールド : 本機およびWJ-FS20,WJ-FS50およびそれらと同等な録画フォーマットを使用し録画したテープを再生する場合

FS10 : WJ-FS10、FS10Aを使用し録画したテープを再生する場合

* メニュー1 *	
ユウセンロクガ	OFF
アラームブザー	2S
アラームシュツリョク	2S
ロクガモード	4フィールド
サイセイモード	→フィールド

メモ

WJ-FS10、FS10Aを使用して録画したテープは再生できますが、録画時と再生時の映像表示チャンネルが異なります。

この場合16画面表示で再生してから、見たい映像を選択することをおすすめします。

再生画を見る上でのお願い

- ビデオを逆再生にしたときは、本機では正常に再生できません。
- ビデオ側の再生モードにより、各再生画面の上部で水平方向に画が引かれる(スキュー)場合があります。
- フィールド記録のため、再生のとき画面またはタイトルが上下に揺れることがあります。
- ビデオのヘッドの状態などにより、ときどき別チャンネルの画面が見えることがあります。
頻繁に発生する場合は、ビデオ側のトラッキングおよびスロートラッキングを調整すると軽減されます。
- 多画面再生のときは画面を縮小しているため、テープに記録されているタイトルなどの文字が読みにくくなります。この場合は、1画面で確認してください。
- ビデオの早送り・巻き戻し再生、および多画面表示モードで録画した映像を再生した場合は、ビデオの出力映像がそのままモニターに表示されることがあります。
- 録画モードに関わらず、ビデオのリニアモード(L12H,L18H,L24H)再生では、画面にノイズが入ったり、他のチャンネルの映像が入ることがあります。ビデオ側の再生は、通常(2H/6H)やタイムラプスモードにしてください。

ビデオ再生画を見る

1画面表示で見える場合

ビデオの再生画を1画面表示します。

操作の前に、本機の動作モードが「フレームスイッチャーモード」(26ページ参照)になっていることと、再生モードの設定(27ページ参照)を確認してください。



ビデオの再生画

1



ビデオの再生ボタンを
押す

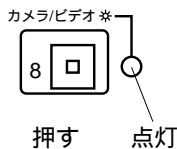
ビデオを再生状態にします。

2



モード/カメラ選択スイッチを
「モード選択」側にします。

3



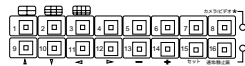
[8]ボタンを押し、「ビデオ」を
選びます。

4



モード/カメラ選択スイッチを
「カメラ選択」側にします。

5

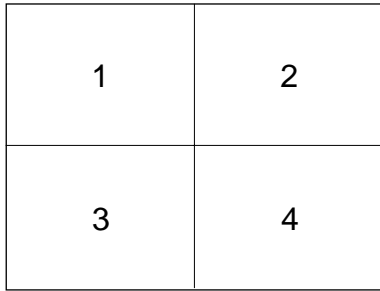


押す

再生したい番号の[チャンネル
選択1~16]ボタンを押します。
その番号の再生映像が表示さ
れます。

多画面表示で見える場合

ビデオの再生画を多画面(4画面、9画面、16画面)表示します。
 操作の前に、本機の動作モードが「フレームスイッチャーモード」(26ページ参照)になっていることと、再生モードの設定(27ページ参照)を確認してください。




4画面表示

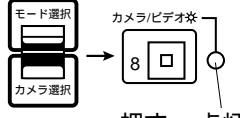



9画面表示





16画面表示

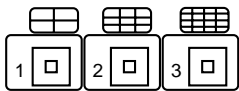
1  ビデオを再生状態にします。
 ビデオの再生ボタンを押す

2  モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にしてから、[8]ボタンを押し、「ビデオ」を選びます。
 点灯

3  モード/カメラ選択スイッチを「カメラ選択」側にします。

4  [多画面]ボタンを押します。
 選択されている分割画面で、ビデオ再生画が表示されます。
 押す

5  モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にします。

6  画面の分割数を[1],[2],[3]ボタンを押し選びます。
 [1]ボタン：4画面表示
 [2]ボタン：9画面表示
 [3]ボタン：16画面表示
 どれかを押す

メモ

- 4画面送り機能の操作手順は、12ページをご覧ください。
- 再生画の各チャンネルの表示位置は固定です。
- 4画面、9画面表示時に画面が揺れることがありますが、故障ではありません。

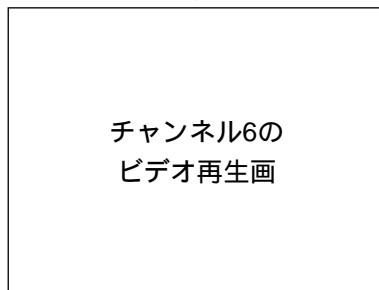
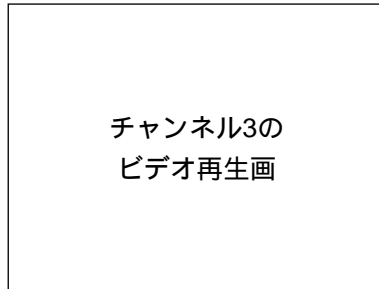
ビデオ再生画を見る

自動切換(シーケンス)表示で見える場合

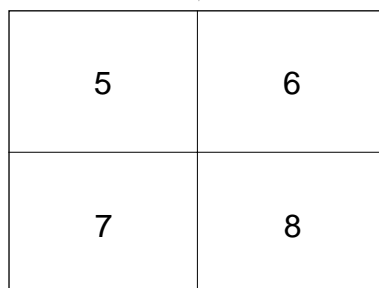
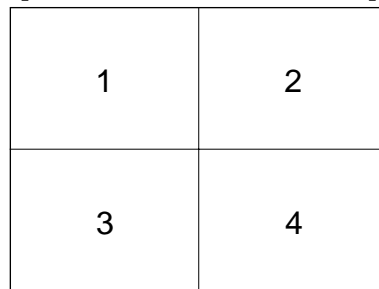
設定した順序、切替時間でビデオ再生画を自動的に切り換え表示します。(1画面シーケンス表示)
4画面再生している場合は、4画面シーケンスで働きます。

操作の前に、本機の動作モードが「フレームスイッチャーモード」(26ページ参照)になっていることと、再生モードの設定(27ページ参照)を確認してください。

[再生1画面シーケンスの動作例]



[再生4画面シーケンスの動作例]



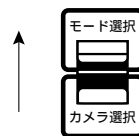
1



ビデオの再生ボタンを
押す

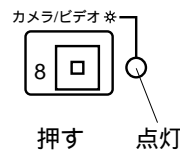
ビデオを再生状態にします。

2



モード/カメラ選択スイッチを
「モード選択」側にします。

3



[8]ボタンを押し、「ビデオ」を
選びます。

4



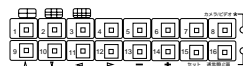
モード/カメラ選択スイッチを
「カメラ選択」側にします。

5



[自動切換]ボタンを押します。
映像を自動的に切り換え表示
します。

6



押す

シーケンス表示をやめるとき
は、[チャンネル選択1~16]
ボタンのいずれかを押してく
ださい。

メモ

9画面、16画面表示のときに上記の操作を行っても、シーケンス表示は働きません。

1画面または4画面表示にしてから、操作してください。

再生映像を静止して見る場合

ビデオの再生映像を静止画にして表示します。

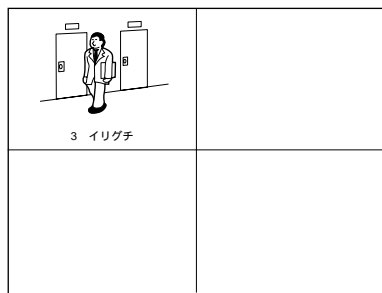
操作の前に、本機の動作モードが「フレームスイッチャーモード」(26ページ参照)になっていることと、再生モードの設定(27ページ参照)を確認してください。



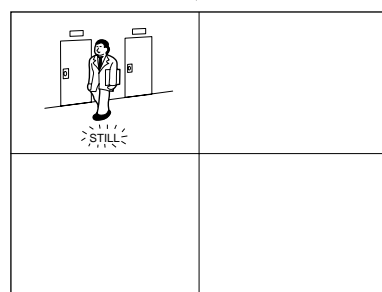
通常の映像



静止させた映像
(STILLが点滅表示)



通常の映像

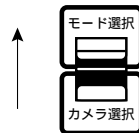


静止させた映像
(STILLが点滅表示)

1

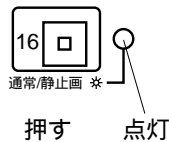
1画面表示または、多画面表示で見る状態にします。
(18または19ページ参照)

2



モード/カメラ選択スイッチを「モード選択」側にします。

3



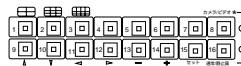
[16]ボタンを押し、「静止画」を選びます。

4



モード/カメラ選択スイッチを「カメラ選択」側にします。

5



押す

静止したいカメラ番号の[チャンネル選択1~16]ボタンを押し、静止画にします。画面上には「STILL」と点滅表示されます。

メモ

- STILL/ALARMの設定(28ページ参照)が「OFF」の場合は、「STILL」の文字は点滅表示されません。
- 画面が静止画状態でも、ビデオの再生は停止していません。
- 多画面表示のときは、画面上に表示されていないカメラのチャンネル選択ボタンを押しても、静止画にはなりません。

ビデオ再生画を見る

再生映像を拡大して見る場合

ビデオの再生映像を拡大して表示します。

操作の前に、本機の動作モードが「フレームスイッチャーモード」(26ページ参照)になっていることと、再生モードの設定(27ページ参照)を確認してください。



通常の映像



「+」マークを表示させた状態

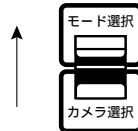


拡大した映像

1

1画面表示で見る状態にします。
(18ページ参照)

2



モード/カメラ選択スイッチを
「モード選択」側にします。

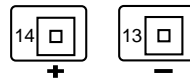
3



押す

[ズーム]ボタンを押し、画面上に「+」マークを表示します。「+」マークは、5秒程度操作しないと消えてしまいます。

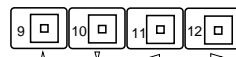
4



押す 押す

[14]ボタンを押し、映像を拡大します。映像を縮小し元に戻すときは、[13]ボタンを押します。

5



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押すと、拡大した映像の位置を移動することができます。

メモ

- 拡大は、1段階のみです。
- 多画面表示のときは、拡大できません。

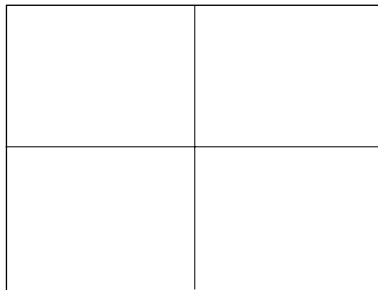
アラームについて

本機には、アラームが発生したことを画面上に表示して知らせる機能とブザーを鳴らして知らせる機能があります。これらの機能は、STILL/ALARM表示の設定(28ページ参照)と、アラームブザーの設定(27ページ参照)を行うことにより働きます。

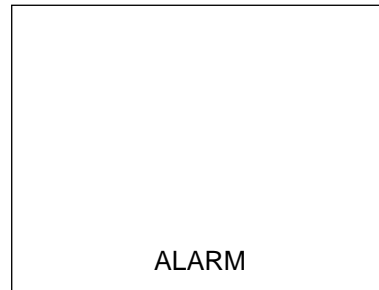
アラーム発生時の動作

- アラームの発生したチャンネルの映像を表示します。多画面表示の場合は、アラームの発生したチャンネルの映像を1画面表示します。また、画面上には「ALARM」の文字が点滅表示され、ブザーが鳴ります。
- CH LOSSの設定(28ページ参照)が「ON」で、本機の電源が「入」のときに、ケーブルが抜けるなどで映像信号が遮断されると、画面上に「CH* LOSS」と点滅表示され、ブザーが鳴ります。(*には、チャンネル番号が表示されます。)

[例] 4画面表示で使用中に、アラームが発生した場合



4画面表示(通常の映像)



アラームが発生したチャンネルの映像

メモ

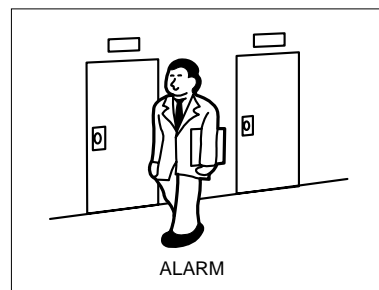
- アラームが複数箇所が発生した場合は、常に最新のアラームが発生したチャンネルの映像に切り換えて表示します。
- 自動復帰の設定(30ページ参照)が「OFF」の場合(多画面表示モード時)は、前面の[アラーム復帰]ボタンを押すか、後面のアラーム/リモート端子にアラーム復帰信号が入力されるまで、アラーム動作状態が続きます。
- 「CH* LOSS」表示が出たときは、映像信号を再度入力するか、[アラーム復帰]ボタンを押すと通常の画面状態に戻ります。

アラーム表示について

タイトル表示の設定(28ページ参照)が「ON」のときにアラームが発生すると、タイトル表示とアラーム表示は交互に点滅表示します。



タイトル表示



アラーム表示

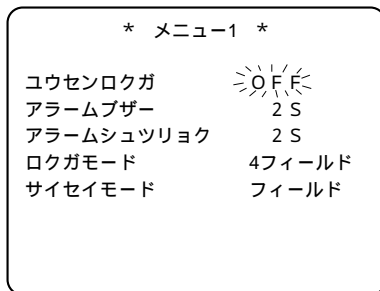
基本操作

メニュー画面を表示する

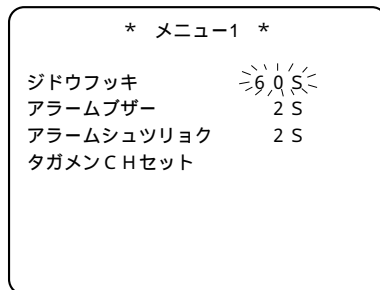
メニュー画面の内容は、動作モードの設定により異なります。

フレームスイッチャーモード時のメニュー画面は、27ページをご覧ください。

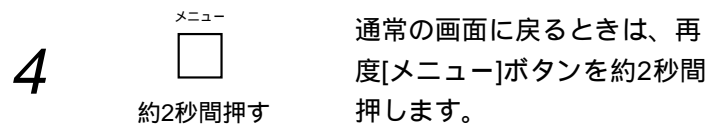
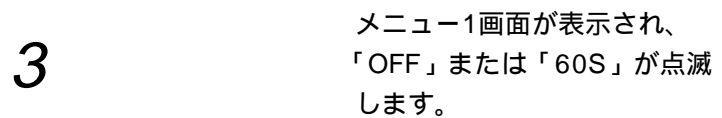
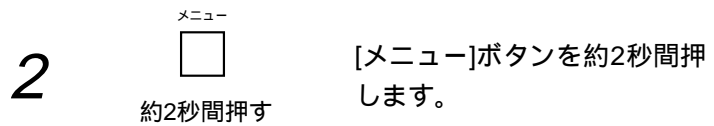
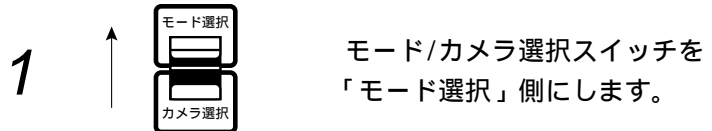
多画面表示モード時のメニュー画面は、30ページをご覧ください。



フレームスイッチャーモード時の
メニュー1画面

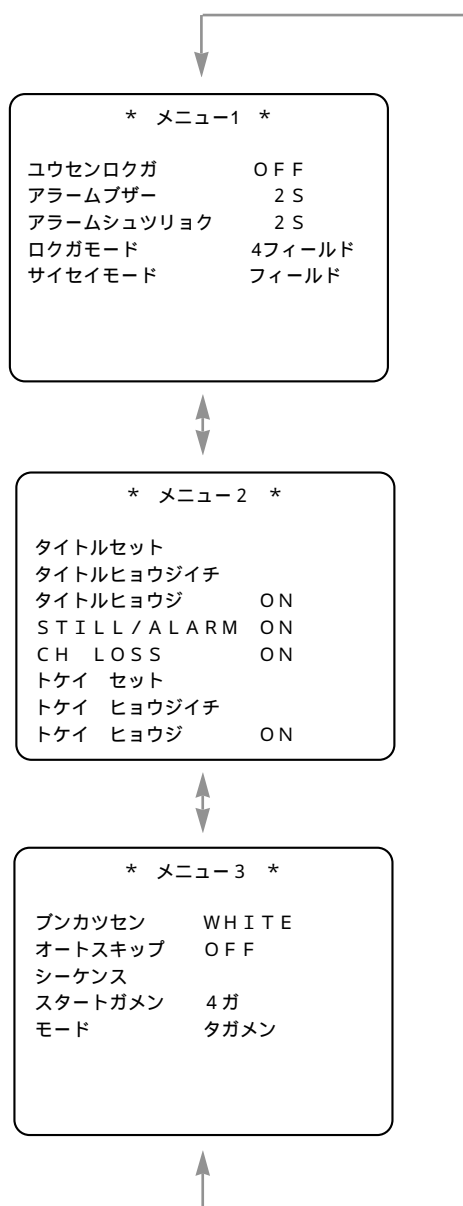


多画面表示モード時の
メニュー1画面



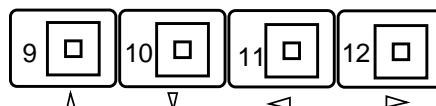
メニュー画面上の操作手順

メニュー画面上の点滅表示をカーソルといいます。設定を行うときは、このカーソルを移動して行います。



カーソルを移動するときは

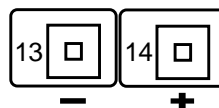
[9],[10],[11],[12]ボタンを押します。



- [9]ボタンを押すと
上にカーソルが移動します。
メニュー画面の1番上の項目にカーソルがあるときは、前のメニュー画面へカーソルが移動します。
- [10]ボタンを押すと
下にカーソルが移動します。
メニュー画面の1番下の項目にカーソルがあるときは、次のメニュー画面へカーソルが移動します。
- [11]ボタンを押すと
左または上にカーソルが移動します。
メニュー画面の1番上の項目にカーソルがあるときは、前のメニュー画面へカーソルが移動します。
- [12]ボタンを押すと
右または下にカーソルが移動します。
メニュー画面の1番下の項目にカーソルがあるときは、次のメニュー画面へカーソルが移動します。

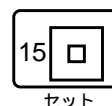
項目を設定するときは

[13],[14]ボタンを押して項目を変更し、設定します。



子画面がある項目の場合は

カーソルを子画面のある項目に合わせて[15]ボタンを押すと、子画面が表示されます。子画面上のカーソル移動、項目設定は上記と同じです。



動作モードの設定

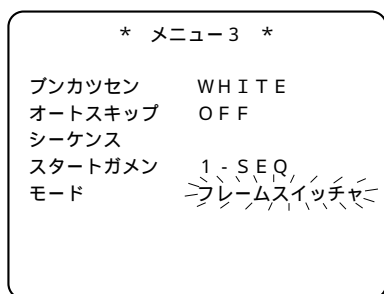
動作モードを設定する

メニュー3画面の「モード」の項目を切り換え、本機の動作モードを設定します。

フレームスイッチャ : フレームスイッチャーモードで動作します。工場出荷時の設定です。

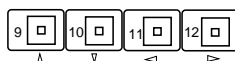
タガメン : 多画面表示モードで動作します。

設定操作の説明は、メニュー画面を表示(24ページ参照)したところから始めます。



メニュー3画面

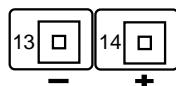
1



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルをメニュー3画面の「フレームスイッチャ」または「タガメン」に合わせます。

2



押す

[13],[14]ボタンを押し、動作モードを設定します。

フレームスイッチャーモード時の設定項目

動作モードの設定(26ページ参照)を、「フレームスイッチャーモード」にした場合の設定内容です。設定するときは、[9],[10],[11],[12]ボタンでカーソルを設定項目に合わせ、[13],[14]ボタンで設定内容を切り換えてください。

メニュー1画面

* メニュー1 *	
ユウセンロクガ	OFF
アラームブザー	2S
アラームシュツリョク	2S
ロクガモード	4フィールド
サイセイモード	フィールド

●ユウセンロクガ

アラーム発生時の録画動作の設定です。

ON : アラームが発生したチャンネルの映像を優先して、通常の録画時よりも多いコマ数で録画します。アラームが複数箇所が発生した場合は、複数まとめて優先録画します。

OFF : どのチャンネルでアラームが発生しても優先録画しません。工場出荷時の設定です。

●アラームブザー

アラームが発生したときのブザーが鳴る時間を設定します。「OFF」に設定するとブザーは鳴りません。工場出荷時は、「2S」に設定されています。

OFF、1S~30S、60S (Sは秒を表します。)

●アラームシュツリョク

アラーム信号が出力される時間を設定します。工場出荷時は、「2S」に設定されています。

1S~30S、60S (Sは秒を表します。)

●ロクガモード

録画するときのモードを設定します。

4~255フィールド: 選択したフィールド(4~255)ごとにカメラを切り換えて録画します。工場出荷時は、「4フィールド」に設定されています。

タイムラプス : タイムラプス録画します。

●サイセイモード

録画したテープを再生するときのモードを設定します。

フィールド : 本機およびWJ-FS20,WJ-FS50およびそれらと同等な録画フォーマットを使用して録画したテープを再生する場合。工場出荷時の設定です。

FS10 : WJ-FS10、FS10Aを使用して録画したテープを再生する場合。

動作モードの設定

メニュー2画面

このメニュー画面の設定内容は、動作モードが「多画面表示モード」のときも同じです。

* メニュー2 *	
タイトルセット	
タイトルヒョウジイチ	
タイトルヒョウジ	ON
STILL/ALARM	ON
CH LOSS	ON
トケイ セット	
トケイ ヒョウジイチ	
トケイ ヒョウジ	ON

- **タイトルセット**
画面に表示するタイトルを設定します。この設定は、子画面に移動して行います。(32ページ参照)
- **タイトルヒョウジイチ**
タイトルの表示する位置を設定します。この設定は、子画面に移動して行います。(33ページ参照)
- **タイトルヒョウジ**
タイトルを表示するか、しないかを設定します。
ON : タイトルを画面上に表示します。
工場出荷時の設定です。
OFF : 表示しません。
- **STILL/ALARM**
映像を静止画させたときの「STILL」表示と、アラームが発生したときの「ALARM」表示の設定です。
ON : 「STILL」と「ALARM」の文字を画面上に表示します。工場出荷時の設定です。
OFF : 表示しません。
- **CH LOSS**
映像信号検出機能を設定します。
ON : 映像入力信号の有無を検出し、映像信号が途切れたときに「CH* LOSS」を画面に表示します。
OFF : 映像入力信号が途切れても、何も変化しません。
- **トケイセット**
日付・時刻を設定します。この設定は、子画面に移動して行います。(34ページ参照)
- **トケイヒョウジイチ**
日付・時刻の表示する位置を設定します。この設定は、子画面に移動して行います。(35ページ参照)
- **トケイヒョウジ**
日付・時刻を表示するか、しないかを設定します。
ON : 日付・時刻を画面上に表示します。
工場出荷時の設定です。
OFF : 表示しません。

メニュー3画面

* メニュー3 *	
ブンカツセン	WHITE
オートスキップ	OFF
シーケンス	
スタートガメン	1 - SEQ
モード	フレームスイッチャ

- **ブンカツセン**
分割画面の分割線の色を設定します。「OFF」に設定すると分割線は表示されません。工場出荷時は、「WHITE」に設定されています。
OFF、BLACK(黒)、GRAY(灰)、WHITE(白)
- **オートスキップ**
カメラの接続されていないチャンネルを自動的にスキップする(とばす)設定です。
ON : スキップします。
OFF : スキップしません。工場出荷時の設定です。
- **シーケンス**
カメラの切替順序、切替時間を設定します。この設定は、子画面に移動して行います。(36ページ参照)
切替時間は、1S~30S(1秒~30秒)の範囲で、切替間隔を設定します。また、OFFに設定すると、そのチャンネルは自動的にスキップされます。
- **スタートガメン**
電源を入れたときに、どのようなモードの画面を表示するかを設定します。
1-SEQ : 1画面のシーケンスを表示します。
工場出荷時の設定です。
1ガ : 1チャンネルの1画面を表示します。
- **モード**
本機の動作モードの設定です。26ページをご覧ください。

動作モードの設定

多画面表示モード時の設定項目

動作モードの設定(26ページ参照)を、「多画面表示モード」にした場合の設定内容です。

メニュー2画面については、フレームスイッチャーモード時と同じですので、28ページをご覧ください。

設定するときは、[9],[10],[11],[12]ボタンでカーソルを設定項目に合わせ、[13],[14]ボタンで設定内容を切り換えてください。

メニュー1画面

* メニュー1 *	
ジドウフッキ	60S
アラームブザー	2S
アラームシュツリョク	2S
タガメンCHセット	

●ジドウフッキ

アラーム発生後、アラーム状態から自動的に通常の状態に戻る時間を設定します。

「OFF」に設定すると、前面の[アラーム復帰]ボタンを押すか、後面のアラーム/リモート端子にアラーム復帰信号が入力されるまでアラーム状態が続きます。

工場出荷時は、「60S」に設定されています。

OFF、1S～30S、60S (Sは秒を表しています。)

●アラームブザー

アラームが発生したときのブザーが鳴る時間を設定します。

「OFF」に設定するとブザーは鳴りません。工場出荷時は、「2S」に設定されています。

OFF、1S～30S、60S (Sは秒を表します。)

●アラームシュツリョク

アラーム信号が出力される時間を設定します。

工場出荷時は、「2S」に設定されています。

1S～30S、60S (Sは秒を表します。)

●タガメンCHセット

分割画面の、どの画面にどの映像を表示させるかを設定します。

この設定は、子画面に移動して行います。(37ページ参照)

メニュー3画面

* メニュー3 *	
ブンカツセン	WHITE
オートスキップ	OFF
シーケンス	
スタートガメン	4ガ
モード	タガメン

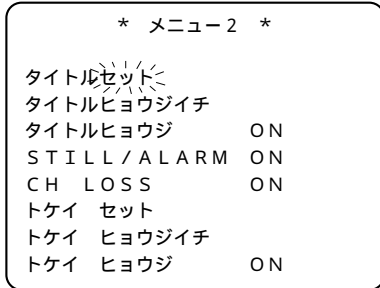
- **ブンカツセン**
分割画面の分割線の色を設定します。「OFF」に設定すると分割線は表示されません。工場出荷時は、「WHITE」に設定されています。
OFF、BLACK(黒)、GRAY(灰)、WHITE(白)
- **オートスキップ**
カメラの接続されていないチャンネルを自動的にスキップする(とばす)設定です。
ON : スキップします。
OFF : スキップしません。工場出荷時の設定です。
- **シーケンス**
カメラの切換順序、切換時間を設定します。この設定は、子画面に移動して行います。(36ページ参照)
切換時間は、1S~30S(1秒~30秒)の範囲で、切換間隔を設定します。また、OFFに設定すると、そのチャンネルは自動的にスキップされます。
- **スタートガメン**
電源を入れたときに、どのようなモードの画面を表示するかを設定します。
1ガ : 1チャンネルの1画面を表示します。
4ガ : 4分割画面の1ページ目を表示します。
工場出荷時の設定です。
9ガ : 9分割画面を表示します。
16ガ : 16分割画面を表示します。
1-SEQ : 1画面のシーケンスを表示します。
4-SEQ : 4画面のシーケンスを表示します。
- **モード**
本機の動作モードの設定です。26ページをご覧ください。

タイトルの設定

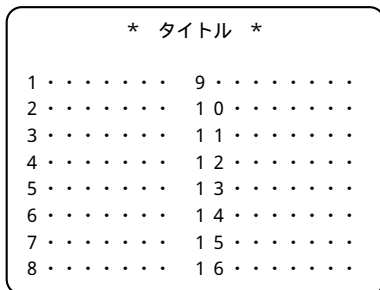
タイトルを設定する

英数字、カタカナ、記号を使い、最大8文字のタイトルを作成します。

設定操作の説明は、メニュー画面を表示(24ページ参照)したところから始めます。



メニュー2画面

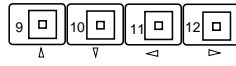


タイトル設定画面

入力文字の表示順序

A B C D E F G H I J K L
M N O P Q R S T U V W X
Y Z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
アイウエオカキクケコサシ
スセソタチツテトナニヌネ
ノハヒフヘホマミムメモヤ
ユヨラリルレロワンアイウ
エオツヤユヨ ° ` = ?
' " # & () * + , - .
/ : ; ・ (ブランクマーク)

1



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルをメニュー2画面の「タイトルセット」の「セット」に合わせます。

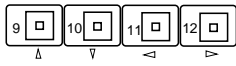
2



押す

[15]ボタンを押します。タイトル設定画面が表示されます。(1チャンネルの1文字目が点滅)

3



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルを設定したいチャンネルに合わせます。

4



押す

[13],[14]ボタンを押し、入力したい文字を選びます。文字は左下図の順番で表示されます。

5



押す

[12]ボタンを押し、カーソルを2文字目に合わせます。1文字目が確定し、2文字目を入力する状態になります。

6



押す

手順3,4,5を繰り返し、タイトルを入力します。入力が終了したら[15]ボタンを押し、設定を完了します。

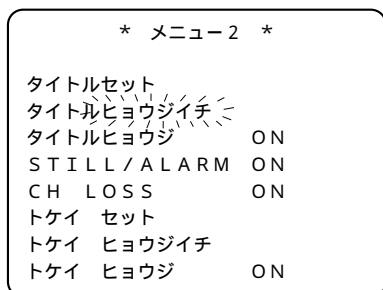
メモ

- 入力した文字を消したいときは、「・」(ブランクマーク)を選んでください。
- あるチャンネルのタイトルを消したいときは、そのチャンネルにカーソルを合わせ、[13],[14]ボタンを同時に押してください。

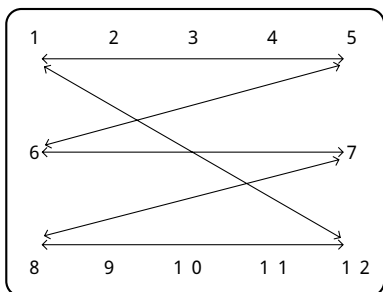
タイトル表示位置を設定する

タイトルの表示する位置を設定します。

設定操作の説明は、メニュー画面を表示(24ページ参照)したところから始めます。

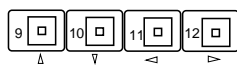


メニュー-2画面



タイトル表示位置設定画面

1



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルをメニュー-2画面の「タイトルヒョウジイチ」の「ヒョウジイチ」に合わせます。

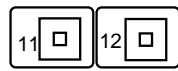
2



押す

[15]ボタンを押します。
タイトル表示位置設定画面が表示されます。
(1チャンネルのタイトルが点滅)

3



押す

[11],[12]ボタンを押し、表示位置を決めます。左図の1~12の位置に設定できます。

4



押す

位置を決めたら[15]ボタンを押します。設定が完了し、メニュー-2画面に戻ります。

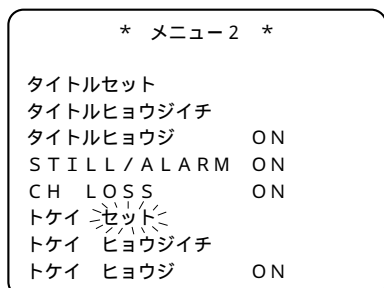
メモ

- 上記設定を行うと、1チャンネル以外のタイトルもすべて同じ位置に設定されます。
- 日付・時刻と同じ位置に設定することはできません。位置が重なった場合は、自動的に日付・時刻の位置が変わります。

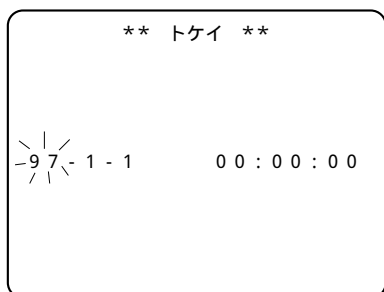
日付・時刻の設定

日付・時刻を設定する

内部時計の日付・時刻を合わせます。日付の年数は、西暦の下2桁で表示されます。
設定操作の説明は、メニュー画面を表示(24ページ参照)したところから始めます。

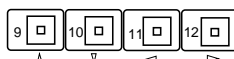


メニュー2画面



日付・時刻設定画面

1



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルをメニュー2画面の「トケイセット」の「セット」に合わせます。

2



押す

[15]ボタンを押します。
日付・時刻設定画面が表示されます。(年数が点滅)

3



押す

[11],[12]ボタンを押し、設定または変更したい日付・時刻の位置へカーソルを合わせます。

4



押す

[13],[14]ボタンを押し、日付・時刻の数値を設定します。

5



押す

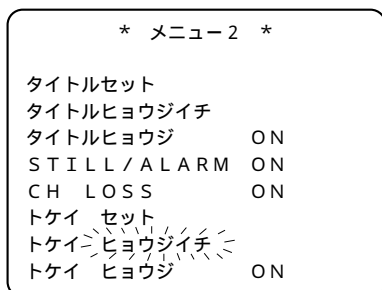
[15]ボタンを押します。設定が完了し、メニュー2画面に戻ります。

メモ

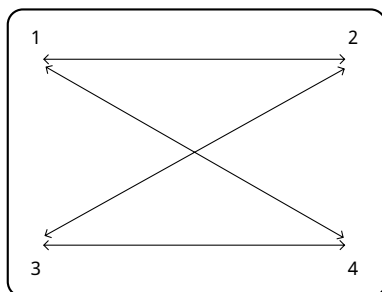
- 秒の表示は、手順5で[15]ボタンを押したときに動きを始めます。
- 本機はタイムジェネレータ(内蔵)により、日付・時刻の表示ができますが、使用する環境により時刻の誤差を生じることがあります。ご使用前には必ず時刻を合わせてください。
- 停電後の復帰時間が常温で72時間以内であれば、日付・時刻のデータは保存されます。(ただし、内蔵電池が十分に充電されている場合に限りです。)
- 停電時は内蔵電池で駆動しているため、時計精度が多少悪くなる場合があります。

日付・時刻の表示位置を設定する

設定操作の説明は、メニュー画面を表示(24ページ参照)したところから始めます。

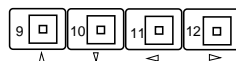


メニュー2画面



日付・時刻表示位置設定画面

1



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルをメニュー2画面の「トケイヒョウジイチ」の「ヒョウジイチ」に合わせます。

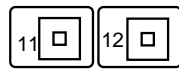
2



押す

[15]ボタンを押します。
日付・時刻表示位置設定画面が表示されます。
(日付・時刻が点滅)

3



押す

[11],[12]ボタンを押し、表示位置を決めます。左図の1~4の位置に設定できます。

4



押す

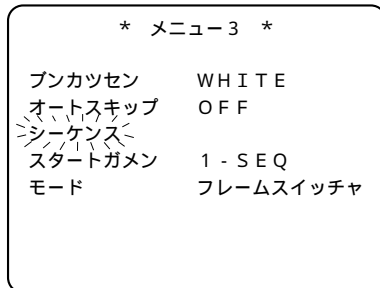
位置を決めたら[15]ボタンを押します。設定が完了し、メニュー2画面に戻ります。

メモ

タイトルと同じ位置に日付・時刻を表示することはできません。

シーケンスの設定

映像を自動切換(シーケンス)表示で見える場合の切換順序、切換時間を設定します。
設定操作の説明は、メニュー画面を表示(24ページ参照)したところから始めます。

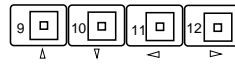


メニュー3画面

切換順序	チャンネル	切換時間
** シーケンス **		
1	1 CH 2S	9 CH 2S
2	2 CH 2S	10 CH 2S
3	3 CH 2S	11 CH 2S
4	4 CH 2S	12 CH 2S
5	5 CH 2S	13 CH 2S
6	6 CH 2S	14 CH 2S
7	7 CH 2S	15 CH 2S
8	8 CH 2S	16 CH 2S

シーケンス設定画面

1



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルをメニュー3画面の「シーケンス」に合わせます。

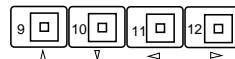
2



セット
押す

[15]ボタンを押します。
シーケンス設定画面が表示されます。

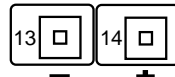
3



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルを設定したい切換順序のチャンネル部に合わせます。

4



押す

[13],[14]ボタンを押し、チャンネルを設定します。
同じチャンネルを2回以上設定することもできます。

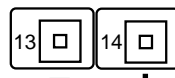
5



押す

[12]ボタンを押し、カーソルを切換時間部に合わせます。

6



押す

[13],[14]ボタンを押し、切換時間(1S~30S、OFF)を設定します。「OFF」に設定すると、そのチャンネルは自動的にスキップされます。

7



セット
押す

手順3,4,5,6を繰り返し設定をしたら、[15]ボタンを押し設定を完了します。
メニュー3画面に戻ります。

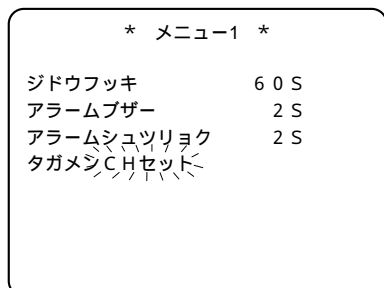
4画面シーケンスの場合は

- 手順4の操作は不要です。チャンネルは、多画面チャンネルの設定(37ページ参照)内容が反映されます。
- シーケンス設定画面の切換順序1,2,3,4が、4分割画面の1,2,3,4ページにあたります。よって、手順6で設定した切換時間は、1ページごとの切換時間となります。

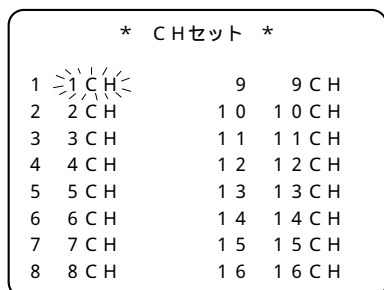
多画面チャンネルの設定

分割画面の、どの画面にどの映像を表示させるかを設定します。

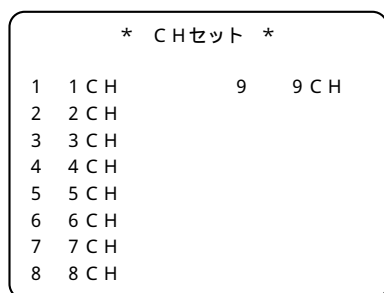
この設定は、本機の動作モードが「多画面表示モード」(26ページ参照)のときのみ設定できます。設定操作の説明は、メニュー画面を表示(24ページ参照)したところから始めます。



メニュー1画面

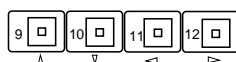


4分割用チャンネル設定画面



9分割用チャンネル設定画面

1



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルをメニュー1画面の「CHセット」に合わせます。

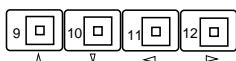
2



押す

[15]ボタンを押します。チャンネル設定画面が表示されます。

3



押す

[9],[10],[11],[12]ボタンを押し、カーソルを設定または変更したい順番のチャンネルに合わせます。

4



押す

[13],[14]ボタンを押し、チャンネルを設定します。

5

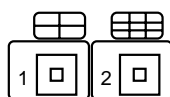


押す

手順3,4を繰り返し設定をしたら、[15]ボタンを押し設定を完了します。メニュー1画面に戻ります。

メモ

- 手順2で、4分割用と9分割用のチャンネル設定画面を切り換えるときは、[1]または[2]ボタンを押してください。



押す

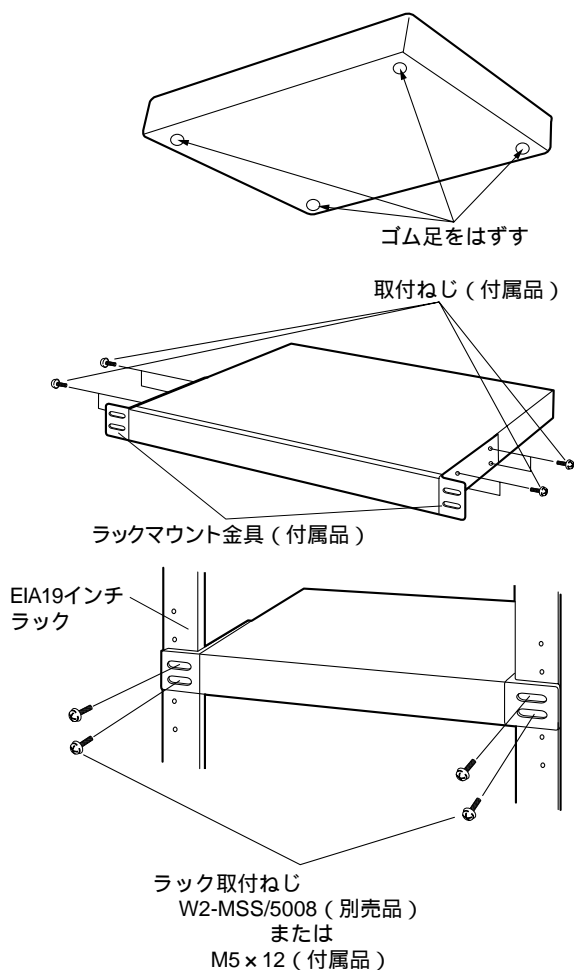
[1]ボタン：4分割用チャンネル設定画面を表示します。

[2]ボタン：9分割用のチャンネル設定画面を表示します。

- 16分割の各チャンネルの表示位置は固定です。

ラックへの取り付けかた

付属のラックマウント金具、取付ねじ(M3×10)と、別売品のラック取付ねじ(品番：W2-MSS/5008)を使用し、ラック(EIA19型)に取り付けます。



1 ドライバーを使い、ゴム足(4カ所)を外します。

2 本機の両端に、ラックマウント金具を取り付けます。取付ねじ(8本)で確実に固定してください。

3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ(4本)で固定します。

メモ

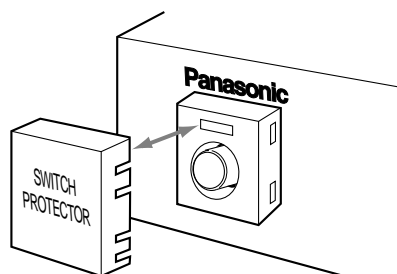
- 振動の多い場所に設置するときは、本機の後部を補強アングル(現地製作)などでラックに固定して使用してください。
- 上下に取り付ける機器の発熱量に注意し、ラック内の温度が本機の使用温度範囲を超えないように、通風や換気を良くしてください。
やむをえず、発熱量の多い機器を上下に取り付けるときは、本機1台分以上の間隔をあけてください。
- 付属のラック取付ねじ(M5×12)は、ラックの取付部にねじがきれていない場合に使用してください。ねじのきれている所に使用すると、ねじ山がこわれる場合があります。

スイッチプロテクター(付属品)について

ラック等に組み込まれ、一括で電源を入/切して使用する場合は、必ず本機の電源スイッチを「入」の状態にして、付属のスイッチプロテクターを取り付けてください。

誤って本機の電源スイッチが押され、「切」の状態になることを防止します。

電源スイッチが「切」の状態では、電源を入/切できません。



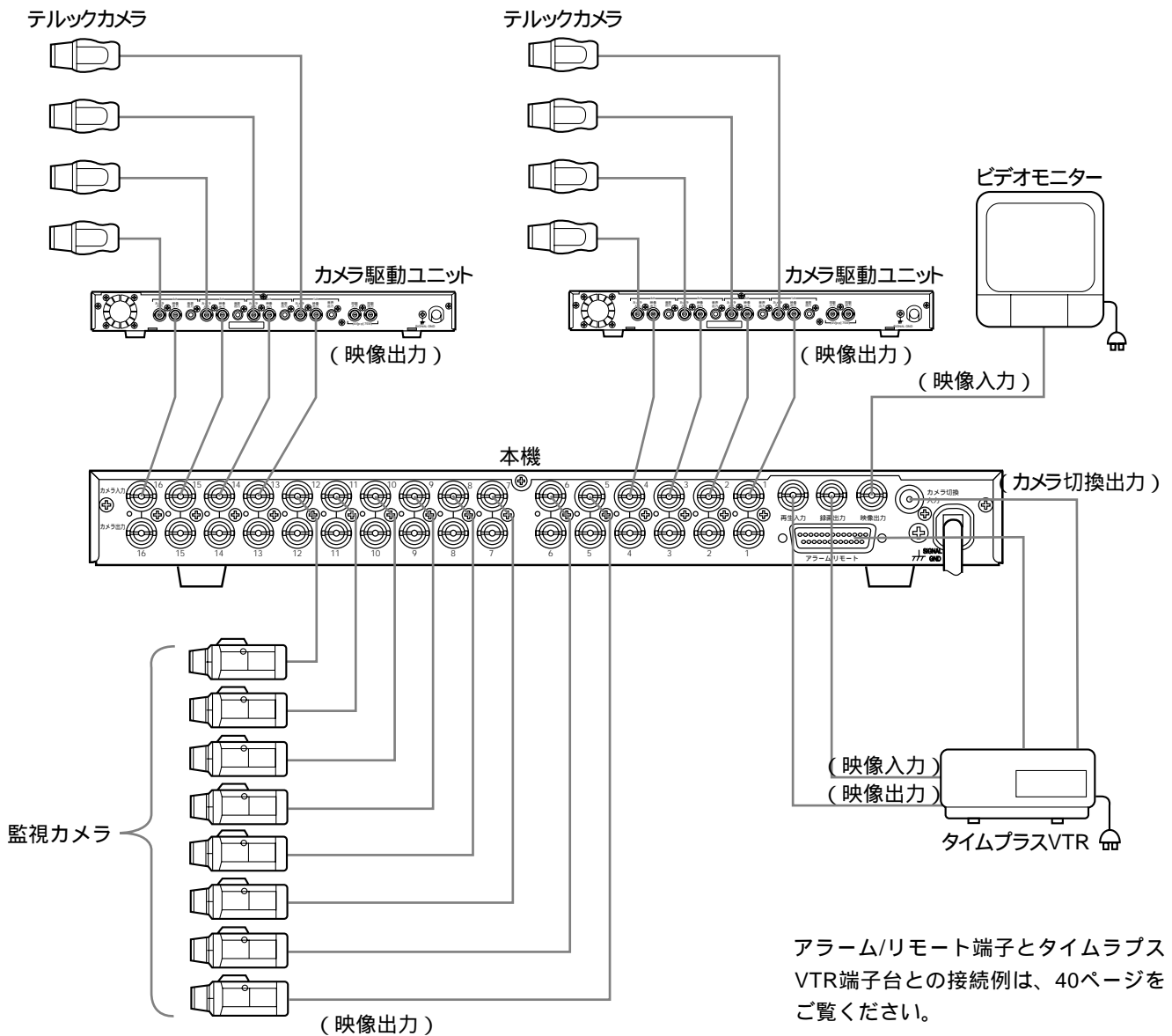
メモ

- 電源の入/切を本機の電源スイッチで行う使用方法のときは、スイッチプロテクターを取り付けなくても大丈夫です。
緊急対応時などのときに、電源スイッチをすぐに押せません。

接続のしかた

機器の接続は、すべての電源を切った状態で行ってください。

システム接続例



アラーム/リモート端子とタイムプラスVTR端子台との接続例は、40ページをご覧ください。

メモ

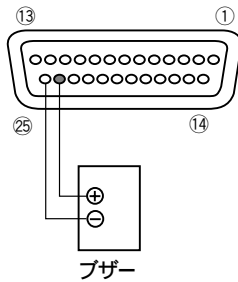
- タイムプラス録画するときは、本機のカメラ切換入力端子とタイムプラスVTRのカメラ切換出力端子を接続しないと正常に録画できません。
- 本機の動作モードが「フレームスイッチャーモード」のときは、VTRに録画する際、垂直ブランキング期間にコードを付加しています。このため、垂直ブランキング期間に何らかのコードがついた映像信号は入力できません。
- 非同期入力のため、画面切換時に映像が乱れることがあります。その場合は、カメラに同期をかけてください。
- VTRには、キャラクタの挿入位置がブランキング期間内まで設定できる機種があります。この場合、映像入力番号コードと重なり正しく動作しなくなる恐れがありますので、VTR側のキャラクタは映像期間内に挿入してください。

アラーム出力端子の接続

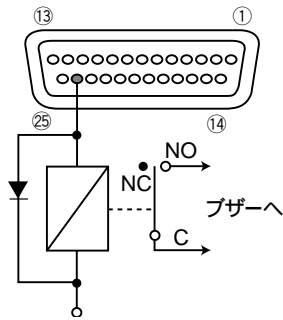
アラーム出力端子(24ピン)にブザーを接続します。必ず、アラーム出力端子とブザーの極性を合わせてください。

アラーム出力端子の接点容量は、DC24 V、100 mA以下です。(オープンコレクタ出力)

[アラーム出力端子の接点容量内で動作するとき]

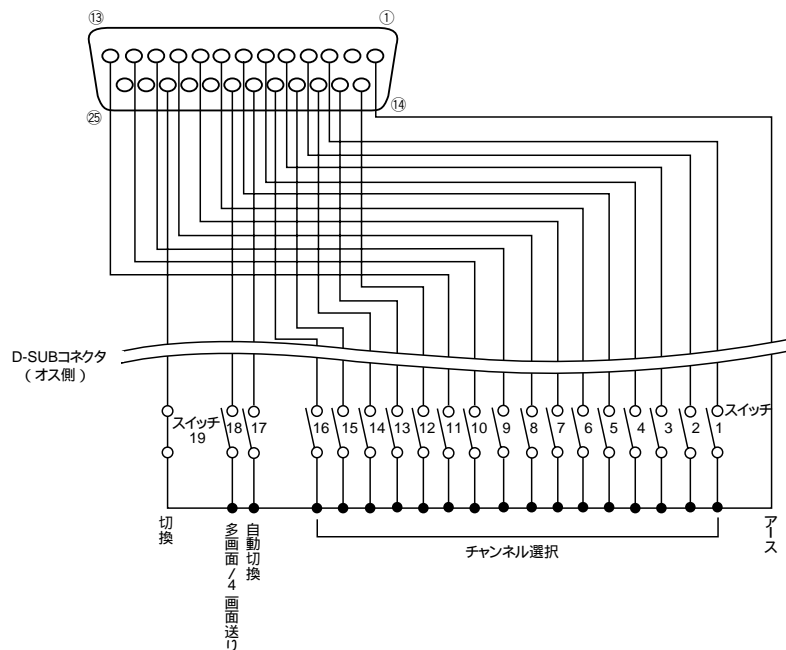


[アラーム出力端子の接点容量をこえるとき]
リレーなどを使って接続します。



外部制御のしかた

本機後面のアラーム/リモート端子を以下のように接続すると、本機前面の[自動切換]ボタン、[多画面]ボタン、[4画面送り]ボタン、[チャンネル選択]ボタンと同じ操作を外部から行えます。



メモ

- アース端子とのメイク接点により動作します。ただし、2つ以上のスイッチが同時にメイクされると正しく動作しません。(オープンコレクタ出力または無電圧メイク接点)
- スイッチ19以外のスイッチは、上図のように未動作時はオープン状態になるようにしてください。
- 切換端子(23ピン)は、アースに接続してください。
- スイッチ1からスイッチ16は、[チャンネル選択]ボタンとして動作します。(アラーム入力としては動作しません。)
- スイッチ17は、[自動切換]ボタンとして動作します。
- スイッチ18は、[多画面]ボタン、[4画面送り]ボタンとして動作します。

故障と思われましたら

修理を依頼される前に、以下のことをご確認ください。

症 状	確認していただく内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグがACコンセントに確実に差し込まれていますか？
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">●カメラのレンズキャップは外しましたか？●ケーブルは正しく接続されていますか？●ビデオモニターは正しく調整されていますか？
映像がぼける	<ul style="list-style-type: none">●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？●カメラのピントは正しく調整されていますか？
ビデオモードにしても再生画が出ない	<ul style="list-style-type: none">●VTRが再生状態になっていますか？●再生モードは合っていますか？(27ページ参照)
再生画面にバーノイズが入る	<ul style="list-style-type: none">●VTRのトラッキングは正しく調整されていますか？
再生画面がスルー画になってしまう	<ul style="list-style-type: none">●録画部分を終了して、未録画部分を再生していませんか？●VTRの再生画質が悪くありませんか？●VTRの各項目設定は正しくされていますか？ (VTRの取扱説明書をよくお読みください。)●多画面表示モードで録画した映像を再生していませんか？●再生モードは合っていますか？(27ページ参照)
静止画になってしまう	<ul style="list-style-type: none">●静止モードになっていませんか？ (画面上で「STILL」の文字が点滅している)
タイムラプス録画できない	<ul style="list-style-type: none">●カメラ切換信号の接続コードは正しく接続されていますか？
72時間以内の停電で、日付・時刻のデータが記憶されていない	<ul style="list-style-type: none">●本機の電源が長時間切れていませんでしたか？
アラーム発生時または、信号遮断時ブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none">●アラームブザーの設定が(27または30ページ参照)「OFF」になっていませんか？

仕様

基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	約10 W
使用温度範囲	- 10° C ~ + 50° C
寸法	420(幅) × 44(高さ) × 350(奥行き) mm (突起部含まず)
質量	約4 kg

入出力

カメラ入力	2:1インターレス VBS1.0 V[p-p]/75 × 16 ループスルー付 75 自動終端 (BNCコネクタ)
再生入力	VBS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNCコネクタ)
映像出力	VBS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNCコネクタ)
録画出力	VBS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNCコネクタ)
カメラ切換入力	1回路 (RCAピンジャック)
アラーム入力	16回路 (各カメラ入力に付1回路、リモート入力と兼用)
アラーム復帰入力	1回路
アラーム出力	無電圧メイク接点 1回路 (DC24 V、100 mA以下)

アース端子とのメイク接点により動作します。

仕上げ

パネル	AVアイポリー焼付塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
カバー	AVアイポリー塩ビ鋼板 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、フレームスイッチャーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品 番	WJ-FS216
販 売 店 名	☎ () -				

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0797-6020

V8QA4467GN